

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

標準化委員会

第6回和文会誌分科会 開催日：8月6日。出席者：松下主査，ほか14名。

1. 論文審査報告
19件の報告があり，掲載可12件，修正依頼7件。
2. 「鉄と鋼」第56年第14号(12月号)掲載論文選定論文8件，技術報告1件，技術資料3件を選定した。
3. 技術資料2件の推薦があり，依頼することになった。
4. 特集号「鋼の脱酸と鋼材の性質」について
郡司，大井，村治，三村委員に企画を依頼することになった。
5. 「鉄と鋼」寄稿規程について
文献略記例については抄録小委員会で検討することになった。

第3回出版分科会 開催日：8月4日。出席者：佐藤主査，ほか8名。

「鉄鋼製造法」の最終組織が行なわれ，八月末までに執筆者会議を行なうことが決定された。

条鋼マニュアルシリーズ3「棒線編」，4「形鋼篇」「たたら製鉄法特別報告」，熱経済部会特別報告書「連続鋼片加熱炉における伝熱計算方法」「日ソ製鋼物理化学シンポジウム報告書」の出版企画が承認された。

共同研究会

条鋼部会

第12回大形分科会 開催日：8月18，19日。出席者：渡辺主査，ほか82名。

於：日本鋼管(株)福山製鉄所
今回より主査が中島新日鉄本社生産設備部長から渡辺新日鉄広畑熱延部長へ交代となった。以下芹沢幹事の司会で活発な討論が行なわれた。

1. 議事概要
 - (1) 操業状況報告
 - (2) 研究テーマ
 - (a) 要員配置と省力化
 - (b) 加熱炉の現状と問題点
 - (3) 自由テーマ
各社事業所から発表。
2. 次回分科会
○12月上旬。於：大谷重工(神戸製鋼と共催：未定)
・尼崎
○テーマ：「ロール管理」ほか1件，幹事会で決定。
3. 工場見学
福山製鉄所全般と2分塊，大形工場。
4. その他
条鋼マニュアル形鋼篇は昭和46年5月刊行予定で編集を進めている。

ISO鉄鋼部会

第11回SC4(旧WG4)分科会 開催日：8月3日。出席者：鈴木主査，ほか13名。

第12回ISO/TC17/SC4(旧WG4)は10月26日から29日まで経団連会館で開催されるが，その会議にて検討される下記項目について検討を行なった。

- (1) 軸受鋼
- (2) バルブ鋼
- (3) 析出硬化型ステンレス鋼
- (4) フックおよびチェーン用鋼
- (5) 冷間圧造および押出用鋼
- (6) 焼ならしおよび引抜用鋼

第5回SC9(旧WG9)分科会 開催日：7月30日。出席者：安藤主査，ほか15名。

第8回国際会議(昭和45年10月7～9日パリー開催)に提出される次の規格案に関して日本修正案を作成した。

- (1) Third Draft ISO Proposal for Cold Reduced Tinplate and Cold Reduced Black-Plate Part 2: Coil
- (2) first Draft ISO Proposal for Minimum Packaging Requirements for Tinplate and Blackplate

第10回SC12(旧WG12)分科会 開催日：8月12日。出席者：三佐尾主査，ほか9名。

第3回国際会議(昭和45年10月19～23日東京開催)に提出される規格案に関して，日本修正案を検討し，

- (1) Draft Proposal for Hot Rolled Carbon Steel Sheet of Commercial and Drawing Qualities
 - (2) Draft Proposal for Cold Reduced Carbon Steel Sheet of Commercial and Drawing Qualities
- に関する日本修正案を作成した。

データシート部会

第3回構造用鋼の機械的性質分科会 開催日：8月12日。出席者：八巻主査，ほか10名。

前回の分科会において検討し実験方案を作成したSCM3(強靱鋼)に続き肌焼鋼(SCM22)の実験方案の検討を行なった。

肌焼鋼については歯車に使用されることが多いのでその観点から検討を行なった結果，12・5，25，50mmφについて実験を行なうことになった。

今後の方針としてはSCM3，SCM22について委員会社で実際の実験に入る。

第31回機械試験方法分科会

第8回ISO鉄鋼部会SC6(旧WG1)分科会 開催日：8月11日。出席者：吉沢主査，ほか16名。

シャルビー衝撃試験機の総合精度検定に関するデータが出揃ったので，各試験機関のデータの整理，検討を行

なつた。今後一部追加試験を行ない、さらに深い検討を実施する予定。

JMTR 利用委員会

第15回委員会 開催日：8月19日。出席者：長谷川委員長，ほか 21 名。

1. 原研大内委員より大洗の JMTR の現状報告が行なわれ来年秋頃までに試用期間を終りそれまでに当委員会で提出した試験片の照射を完了し、その後有料照射に入るとの説明があつた。

2. 石川島播磨重工業の松本委員より文献「Post-irradiation and Co-irradiation annealing of iron and steel」の紹介が行なわれた。

資料委員会

昭和45年度第4回委員会 開催日：7月31日。出席者：草川委員長，ほか 13 名。

1. 今年度より寄贈を受けることになつた“Henry Brucker Translation”の Abstract について“資料室だより”に掲載し広く会員の閲覧を仰ぐことにした。

2. 鉄と鋼検索カードについて申し込み数49枚で1枚10円ということで各社に了解を得ることにした。今年度は、昭和 37, 38, 39, 44 年度分について印刷することにした。抄録については、来年度より掲載する予定である。

3. 図書購入については、国際会議の proceedings 公

害問題、鉄鋼講座、外国の会社年鑑など、協会ですべては収集できないような図書を中心に購入することになつた。

4. 新着図書を展示するための棚を作成し、会員のための閲覧に寄与することにした。

5. 鉄鋼技術情報専門センタ(仮称)について(案)ができた時点で報告することにした。

鉄鋼基礎共同研究会

遅れ破壊部会

第3回部会 開催：8月12日。出席者：藤田部会長ほか 11 名。

今回は平野賢一委員の「鉄鋼中の水素の拡散」に関する発表を中心に質疑討論を行なつた。

1. 水素の拡散の特徴としては次の点がある。
 - (1) 非常に拡散しやすい。
 - (2) トンネル効果による拡散がある。
 - (3) 同位元素の質量差が大きく、それに起因する拡散速度の差がはつきりする。
 - (4) 実験的特徴
 - (a) 表面反応が遅い可能性がある。
 - (b) 拡散の活性化エネルギーが小さくバラツキの要因が入りやすい。
2. 鋼中水素の拡散に関する Choi の論文の紹介。
転位による水素のトラップを考慮した拡散モデル
なお次回は10月上旬開催の予定である。

新入会員名氏

(昭和45年6月1日~30日)

維持会員		出口 栄彦	日本金属工業(株)			第2技術部	
(株)鉄原			相模原	福島 一夫		住友金属工業(株)	
正 会 員		富岡 実	大平洋金属(株)製鋼課			鋼管製造所	
安宅 弘	新日鉄(株)広畑	鳥井 康司	(株)神戸製鋼所中研	福本 保		金属材料技術研究所	
石田 雅之	日本鋼管(株)福山	中川 実	住友重機械(株)	増成 重由		(株)神戸製鋼所加古川	
稲垣 裕輔	〃 技研		千葉工場	松村 和良		川崎製鉄(株)	
大高晋一郎	〃 福山	中川 雅俊	東京芝浦電気(株)			水島製鉄所	
大槻 健	(株)神戸製鋼所中研		柳町工場	宮原 忍		日本鋼管(株)技研	
河原 純	新日鉄(株)室蘭	仲田 一郎	関西製鋼(株)技術部	森岡 保		特殊電極(株)	
木村 利之	東洋鋼板品質課	中島 賢吾	神戸製鋼所(株)			名古屋工場	
岸本 純幸	日本鋼管(株)技研	永淵 光敏	東洋ベアリング製造(株)	森近 俊明		久保田鉄工中研	
坂井 正	寿工業(株)広製作所			八木 晃一		金属材料技術研究所	
佐久間健人	東北大, 工, 金属材料工学科助手	中村 齊	ロイド・レジスター・オブ・ショッピング	矢野 修也		川崎製鉄(株)技研	
		橋本 清二	日本鋁業(株)佐賀製錬所	鉦田 征雄		〃 〃	
佐々木智久	新日鉄(株)名古屋			義村 博		日本金属工業(株)	
下田 俊郎	住友金属工業(株)和歌山	橋本 房雄	中山製鋼所	渡辺 晃男		大谷重工(株)尼崎工場	
		原 幸男	住友金属工業(株)和歌山	中村 実人		(株)神戸製鋼所中研	
須田 豊治	日本鋼管(株)技研			秋吉 哲男			
杉本 繁利		針谷 雄二	新日鉄(株)室蘭	陸月 武志		(株)寿アンカー生産	
高尾 滋良	新日鉄(株)室蘭	原 修一	住友金属工業(株)和歌山			技術課	
田中 光之	日本製鋼所室蘭研究所			松浦 淳雄		八戸製錬(株)	
千田 信	東北大学工学部助手	広田 哲也	〃 中研			八戸製錬所	
辻野 憲明	神戸製鋼所神戸	平山 政隆	日本工業検査(株)				
対島 隆	新日鉄(株)名古屋						

学生会員							
高岡 秀典	京大, 院, 工学研究科 冶金	白井 徳雄	名古屋大, 工, 金属及鉄 鋼工学科	中野 進	〃	〃	〃
吉川 克之	〃	杉島 芳治	東北大, 工, 金属工学 科	藪野 良平	〃	〃	〃
上田 陽	〃	曾村 倫久	〃	横井 純一	〃	〃	〃
中山 紘一	千葉工大, 院, 工学研 金属工学	橋 林三	〃	猿楽 幸雄	〃	〃	〃
及川 知夫	〃	鎌田 政男	〃	池永 浩	〃	〃	〃
籠橋 亘	東工大, 院, 工, 金属 工学	柿崎 光雄	〃	法野 信一	富山大, 工, 金属工学 科	〃	〃
工藤 義雄	早大, 院, 鉱山及金属工 学	石田 寿秋	〃	吉田 六操	〃	〃	〃
		田中 康弘	大阪府立大, 工, 金属 工学科	今村 徹	〃	〃	〃
		土井 敏克	〃	池田 昇文	〃	〃	〃
				有木 康友	宇都宮大, 工, 機械科	〃	〃
				田中 徹	東工大, 院, 金属工学 科	〃	〃

第2回結晶成長国内会議 案内

応用物理学会主催, 本会ほかの協賛により下記により開催されます。講演および論文発表は気相成長, 水溶液, フラクス, 結晶理論, 単結晶の生成, 結晶の成長, 蒸着膜などについて行なわれます。

1. 日時 昭和45年11月9日~10日 9:00
2. 会場 愛知県産業貿易館(名古屋市)
問合せ先 応用物理学会(電(03)434-6659)

1971年国際ガスタービン会議東京大会講演募集

日本機械学会とアメリカ機械学会との共催で下記により開催されますので講演を募集します。

1. 期間 昭和46年10月4日~7日
2. 会場 科学技術館
3. 内容 ガスタービンに関する学術論文, 技術論文(タービン, 熱交換器, 材料その他)
4. 申込者資格 機械学会会員
5. 用語 英語(20分)
6. 申込方法 申込書, 論文概要(日本文約4000字)採否選考の上, 英文論文を提出する。
7. 申込締切 昭和45年11月15日
8. 申込先 日本機械学会気付東京ガスタービン会議論文受付係
詳細は大会事務局(電(03)401-1111)にお問い合わせ下さい。